給食時間の食に関する指導展開例【中学校　食品ロス】

実施日　令和○年２月○日（※ふじっぴー給食実施日）

題材名　静岡県でとれた食べ物を味わおう

指導内容（本時のねらい）

地域でとれた食べ物の良さや生産者の思い、環境や資源に配慮した食生活について知り、地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重して残さず食べようとする態度を養う。

食育の視点

【感謝の心】環境や資源に配慮した食生活を実践しようとする意識を持つ。（思考力・判断力）

【食文化】地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度を養う。

（学びに向かう力・人間性等）

展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習活動　☆留意点　★評価 | 資料等 |
| 導入展開終末 | １　今日は静岡県でとれた食べ物をたくさん使った「ふじっぴー給食」です。　　☆2月23日は語呂合わせでふじさんの日であることを説明する。２　今日の給食の中で「静岡県でとれた食べ物」はどれでしょうか？・給食の中から、静岡県でとれた食べ物を探す。・給食に使われている静岡県でとれた食べ物の食品名や産地を知る。（チラシに食品名を記入する。）☆実物や地図を見せ、関心を深める。３　今日の一押しは今年のテーマ食品の「さば」です。・「ふじっぴー給食」では静岡県内全域で多くの児童生徒が静岡県でとれたさばを食べていることを知る。４　静岡県ではどのようにしてさばをとっているのでしょうか。・静岡県でさばをとっている様子を知る。☆チラシや動画を活用する。★静岡県産の食べ物の良さや生産者の思いを知ることができたか。５　食品ロスについて考えよう。　　・さばを加工、調理する上での食品ロス削減について知る。　　・自分たちができる食品ロス削減について考える。　　☆パワーポイントやメッセージを活用し、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと）について説明する。６　これからも、静岡県でとれた食べ物を味わって、できるだけ残さず食べましょう。　　★静岡県産の食べ物に興味を持ち、尊重して残さず食べようとする態度が養われたか。 | ・チラシ・地図・地場産物の実物や写真・チラシ・チラシ　・チラシ・さば漁の動画県教育委員会ＨＰ「ふじっぴー給食　さば」で検索・パワーポイント（資料①）・食品ロスについてのメッセージ（資料②） |

教科等との関連　技術・家庭（家庭分野）「日常食の調理と地域の食文化」

社会「私たちと国際社会の諸課題」